



DAC3 Portable Headphone Amp & DAC

クイックスタートガイド

Audioengineファミリーへようこそ！
そしてAudioengine DAC3プレミアム・ポータブルヘッドホン
アンプDACのご購入ありがとうございます。

Audioengineは最高の音楽体験をご提供するためにすべてを捧げ
てきました。DAC3の設計思想は他のAudioengine製品と同じ様
にディテールまで注意深くデザインし、誰でも簡単に最高の音楽
体験をお届けすることです。

全てのお客様からの貴重なフィードバックとインスピレーション
をもとにこの素晴らしいプロダクトが完成出来たことを感謝致し
ます。

概要

DAC3は、高価格帯のデジタルインターフェイスで見られるような
パフォーマンスと特徴を有するパワフルでありながらポータブル
サイズの32-bitヘッドホンアンプDACです。

DAC3は大きな電力を必要しないにもかかわらずハイエンドの低
インピーダンスヘッドホンを駆動することが可能で、コンピュ
ーターの内蔵DACやサウンドカードをバイパスして、パワードデス
クトップ・スピーカーに直接接続することも可能です。

DAC3は、12Ω以上のインピーダンスで動作する
LME49726高性能オーディオ・アンプを使用しています。
この出力は、AudioengineスピーカーやAVレシーバー
など、アナログオーディオ入力を備えたシステムにも
接続ができます。

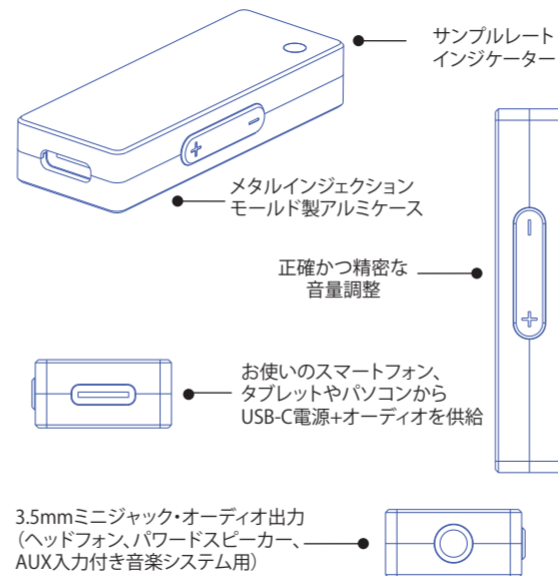
DAC3は、高い評価を得ているESS HyperStream II
クアッドDACアーキテクチャとタイムドメイン・ジッター
エリミネーターを採用したESS Sabre ES9281A PRO DACを
搭載しています。

また、MQAレンダラー技術も含まれており、MQAコア信号
に接続し、MQAファイルの最終的な展開を完了することが
可能です。

DAC3は、最大サンプルレート384kHz、32ビットまでの
PCMデジタルオーディオを処理し、DSD 128ソースまでの
DSD再生をサポートします。

オーディオフォーマットとビットレートは、DAC3ケースの
インジケータライトの色で表示されます：

ホワイト:PCM 32-48kHz
グリーン:PCM88.2-192kHz, DSD64
ブルー :PCM352.8-384kHz, DSD128
パープル:MQAレンダリング



サンプルレート
インジケータ

メタルインジェクション
モールド製アルミケース

正確かつ精密な
音量調整

お使いのスマートフォン、
タブレットやパソコンから
USB-C電源+オーディオを供給

3.5mmミニジャック・オーディオ出力
(ヘッドフォン、パワードスピーカー、
AUX入力付き音楽システム用)

クイックセットアップ

DAC3をヘッドホンやミュージックシステムに接続
する方法をご紹介します。

- 1 USB-C-Lightningケーブルを使用してiOSデバイスを
DAC3に接続（MacOS、Android、Windowsには付属
のUSB-Cケーブルを使用）して下さい。
- 2 ヘッドホンまたはパワード・スピーカーをDAC3の
ミニジャック出力に接続すると、サンプルレート・
インジケータが点滅し、ホワイトに変わります。
- 3 デバイスとDAC3の音量レベルを中間レベル程度に調整
し、音楽再生を開始して下さい。

PCの場合、DAC3は自動的に認識されます。

Macの場合、システム設定/サウンドで、サウンド出力
としてAudioengine DAC3を選択します。

DAC3は箱から出してすぐに素晴らしいサウンドが得られ、
時間が経てば経つほどより良くなるでしょう。
通常、40～50時間の慣らし時間が必要になります。

本製品につきまして、ご質問やサポートが必要な場合は、
下記までご連絡ください。

Audioengine国内正規代理店

株式会社コペックジャパン
東京都渋谷区円山町21-3-1F
Phone: 03-3477-0122
E-mail: info@kopek-japan.co.jp

製品保証

Audioengineの製品には、ご購入日より3年間の限定保証が付属致します。この保証はご購入により自動的に付帯し、登録の必要はありません。

保証の対象

製造上の不備及び欠陥による不良を対象と致します。本限定保証は日本国内においてのみ適用されます。

保証の対象とならないもの

事故、誤使用、不正な使用、過度な湿度・日光・環境下での使用、高いボルテージ環境での使用、天災・災害等、改造、マニュアルの指示を従わない不適切な使用など。これらによる製品の不具合については保証の対象とはなりません。

不具合への対応

Audioengineにて各不具合品について修理あるいは交換を決定致します。また、保証期間内は、お客様からAudioengineあるいは代理店への送料を除く修理・交換の費用は保証によってカバーされます。修理・交換後は、迅速に商品をお戻し致します。

お客様へのお願い

Audioengineあるいは代理店までの送料はお客様負担となります。万が一、修理等が必要になった場合に備え、製品の破損を防止するために、製品ご購入時に付属の箱等は保存しておくことをおすすめ致します。Audioengineでは、商品返送の際に起きる不適切な梱包による破損等については一切保証いたしません。お客様ご自身で梱包をする際は梱包に問題がないことをしっかりご確認ください。

Audioengine保証を実際に利用するためには

保証制度についてのご質問やご不明点がありましたらお気軽に下記弊社サポートまでお問い合わせ下さい。

info@kopek-japan.co.jp

排他的救済

本限定保証はAudioengine国内正規代理店での購入証明及び製品にシリアルナンバーが付属することを条件に、譲渡が可能です。Audioengineの責任は製品のご購入者の購入に際し実際にかかった費用を限度とします。また、特別、偶発、間接的あるいは直接的結果として生じる全ての不良に対し、Audioengine及び代理店は責任を負いません。

Audioengineについて

Audioengineはお客様のミュージック・ライフをより良くするための革新的なオーディオ製品をデザイン及び製造しています。素晴らしいサウンド、シンプルでありながらエレガントなデザイン、高品質な素材、本当に必要かつ便利な機能、これらがAudioengineの製品が持ち合わせる特徴です。全てのお客様にAudioengine製品を出来る限り楽しんでいただけるよう心より願っています。

FCC Part 15 Notice

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- 1) This device may not cause harmful interference.*
- 2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.*

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.

This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

*Reorient or relocate the receiving antenna.
Increase the separation between the equipment and receiver.
Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
Consult the dealer or an experienced technician for help.*

FCC Radiation Exposure Statement

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This equipment should be installed and operated with minimum distance 20cm between the radiator & your body.

Information for Users on Disposal of Old Equipment

[European Union]

This symbol indicates that the electrical and electronic equipment should not be disposed as general household waste at its end-of-life. Instead, the product should be handed over to the applicable collection point for the recycling in accordance with your national legislation.



By disposing of this product correctly, you will help to conserve the environment and human health that could otherwise be caused by inappropriate waste handling of this product. For more information about collection point and recycling of this product, please contact your household waste disposal service or the shop where you purchased the product. Penalties may be applicable for incorrect disposal of this waste, in accordance with national legislation.

[Other Countries outside the European Union]

If you wish to dispose of this product, please do so in accordance with applicable national legislation or other rules in your country for the treatment of old electrical and electronic equipment.



© 2022 Audioengine, LLC. All Rights Reserved.

Audioengine and Audioengine DAC3 are trademarks of Audioengine.

MQA and the Sound Wave Device are registered trademarks of MQA Limited © 2016

All other product names, company names and logos mentioned may be the trademarks of their respective owners and are acknowledged by Audioengine.